

かがわ産業情報21

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

2020 October | vol.78

10

年4回発行

TOP NEWS

第27回 芦原科学賞贈呈式を開催

理事長が行く

第27回 芦原科学大賞受賞者インタビュー

～新たな価値を創造し、お客様から選択されるパートナーを目指して～
大津理事長が芦原科学大賞を受賞された大倉工業株式会社の皆様と懇談

特集

かがわ産業支援財団は、新型コロナウイルス感染症に関して
特別支援体制で、中小事業者等を強力に支援しています

令和2年度

新かがわ中小企業応援ファンド等事業 後期事業を採択しました！！

香川県よろず支援拠点の体制が更に拡充！

～新型コロナウイルスによる緊急対応も実施中！

土日祝も相談いただけます～

かがわ発！元気創出企業

「株式会社二宮石材」

原動力は危機感と使命感。

千年続く庵治石の歴史を

次世代につなぐために。



第27回 芦原科学賞贈呈式を開催

第27回芦原科学賞贈呈式は、当初、本年2月27日(木)に高松市内のホテルにおいて執り行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、止む無く延期しておりました。

その後の国の緊急事態宣言解除などの状況等を踏まえ、さる7月2日(木)に香川産業頭脳化センターにおいて感染症対策を行った上で贈呈式を開催しました。

式では、まず芦原科学賞の顕彰があり、大津理事長から芦原科学大賞に決定した大倉工業株式会社の山下英之氏、銭瓶昌明氏、植松章人氏に賞状と楯、賞金目録(200万円)が、芦原科学功労賞に決定した東洋炭素株式会社の町野洋氏、尾藤信吾氏、富田修平氏に賞状と楯、賞金目録(100万円)が、芦原科学奨励賞に決定した有限会社日本健康科学研究センターの岩倉泰一郎氏に賞状と楯、賞金目録(50万円)がそれぞれ授与されました。



(公財)かがわ産業支援財団では、高松市出身の故芦原義重関西電力㈱名誉会長からの寄附金を基金として、自然科学系分野において、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与することを目的に、平成5年度から、研究者の顕彰のための「芦原科学賞」事業を行っています。

CONTENTS

2020年10月 vol.78 発行(年4回発行)

かがわ産業情報21 10

【トップニュース】

第27回 芦原科学賞贈呈式を開催 1

【理事長が行く】

第27回 芦原科学大賞受賞者インタビュー

～新たな価値を創造し、お客様から選択されるパートナーを目指して～
大津理事長が芦原科学大賞を受賞された大倉工業株式会社の皆様と懇談 2

【特集】

かがわ産業支援財団は、新型コロナウイルス感染症に関して
特別支援体制で、中小事業者等を強力に支援しています 5

令和2年度
新かがわ中小企業応援ファンド等事業 後期事業を採択しました!! 5

香川県よろず支援拠点の体制が更に拡充!
～新型コロナウイルスによる緊急対応も実施中!土日祝も相談いただけます～ 6

【支援事例紹介】

「マイクロ波熟成促進装置 Aging Booster」の開発支援 7

【財団の活動】

夏休み「科学と発明」おもしろ体験学習を開催しました 7

「令和2年度総合防災訓練」に出展 8

D-ブシコース(アルロース)が「Okcal」表示できるようになりました! 8

県内の障害者支援施設に希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」が寄贈されました! 8

11月10日は「いい糖の日」「希少糖の日」 8

令和2年度「かがわ創業塾」が開講しました 9

【財団からのお知らせ】

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」応募者を募集します 9

令和2年度戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)に2事業が採択 10

かがわ産業支援財団の入居施設のご案内 11

令和2年度「かがわ成長する企業大賞」候補企業を募集します! 12

【かがわ発!元気創出企業】

原動力は危機感と使命感。

千年続く庵治石の歴史を次世代につなぐために。

株式会社二宮石材 13

第27回 芦原科学大賞受賞者インタビュー

～新たな価値を創造し、お客様から選択されるパートナーを目指して～

大津理事長が芦原科学大賞を受賞された大倉工業株式会社の皆様と懇談

「第27回 芦原科学大賞」(テーマ:ガスパック包装に利用するバリアシュリンクフィルムの開発)の贈呈式を終えられたばかりの大倉工業株式会社合成樹脂事業部の山下スパウト溶着係担当、銭瓶課長、植松係長の3名と、推薦者の代理としてご参加いただいた田中取締役常務執行役員をお招きして、(公財)かがわ産業支援財団 大津理事長が開発までの苦労話やこれからの事業展望などについてお聞きしました。

大倉工業株式会社は、各種ポリエチレン製品や光学機能性フィルムの製造販売等を通じて、環境保全と地域社会の持続的な成長・発展に貢献する一方、次の10年に向けての在り方を取りまとめた「経営ビジョンNext10」を昨年策定するなど、技術の提供を通じて新たな価値を創造し、お客様から選ばれ続けるソリューションパートナーを目指しています。



芦原科学大賞の受賞者記念写真



バリアシュリンクフィルムを使用した
ガスパック包装設備



開発素材と包装例

理事長: このたびは、芦原科学大賞受賞、誠にありがとうございます。

本年2月に予定しておりました贈呈式が、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、止む無く延期することとなり、受賞者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。ようやく贈呈式を執り行うことができ、大変嬉しく思っております。

さて、今回の新型コロナウイルス感染症は、我が国の経済にも甚大な影響を与えておりますが、御社においてはどのような影響が生じているのでしょうか。



大津理事長

田中取締役常務執行役員: この感染症による影響は国内外に及び、収束点が見えないのが現状です。私自身、今年初めの時点ではこれほど大きな影響があるとは思っていませんでした。2月25日に発表された国の基本方針を踏まえ、当社でも出張の全面禁止、外勤業務や来客対応、社外イベントへの参加の自粛や在宅勤務の推奨などを発令いたしました。生産活動自体は止めておりませんが、営業活動には大変大きな影響が生じております。



田中取締役
常務執行役員

当社の事業は、合成樹脂事業と新規材料事業、建材事業の3部門で構成されているほか、グループ企業にはホテル事業や情報システム事業、住宅事業などがあります。それぞれの事業で影響の度合いは異なりますが、サプライチェーンの寸断、都市封鎖による中国の生産活動の停止、国境・県境を跨ぐ人の制限、在宅勤

務の増加や各種イベントへの参加の自粛など、人々の生活スタイルや働き方の変容が消費行動にも大きく影響しております。例えば、合成樹脂事業の場合、分野や業種によって好不調は様々であり、一時的な買い込み現象が起こったカップラーメンをはじめとする包装材や液体石鹸、洗剤の詰め替え袋などは平時以上に好調に推移しましたが、外食産業向けは急激に減少しました。特に産業用資材では、自動車用途、住宅部材用途、輸出用途などはユーザー様の工場の操業停止もあって大きく減少しております。

また、新規材料事業の光学フィルムは、スマートフォンやタブレット、パソコン、テレビなどに使用されておりますが、中国での生産活動の停止により、大変大きな影響が生じました。今後、中国の生産活動が回復したとしても、世界的な需要は停滞し、その影響が長期化する可能性があります。このほか、建材事業では昨年10月の消費増税以降、住宅の着工数は低迷しておりますが、その状況でのコロナショックということで大幅に需要が低迷しております。住宅事業は、2月以降、中国製



の部材が確保できず、物件の引き渡しに影響が生じました。当社を含めた住宅メーカーは、販売活動ができていないことから、今年後半の住宅着工数は激減する可能性が高く、それがいつ回復に転じるのか、現時点では不透明な状況にあります。

ホテル事業でも、3月以降の宿泊と宴会の予約が全てキャンセルとなり、休館せざるをえない状況になりました。6月以降、レストランでは感染症拡大防止に配慮しながら部分的に再開しておりますが、売上高はコロナウイルス感染症前の半分にも程遠く、もとの戻るためには相当な時間を要すると覚悟しております。

芦原科学大賞受賞の感想

理事長：このたびの芦原科学大賞受賞の感想・お気持ちをお聞かせください。

山下担当：改めて、大賞の授与、誠にありがとうございました。当社では、以前から熱によって収縮するシュリンクフィルムに関する開発を行っており、その一環として食品の鮮度保持を目的に、ガスバリア性を維持するトレーのオーバーラップ用シュリンクフィルムの開発を進めてまいりました。



丸亀第五工場加工課
スパウト溶着係
山下担当

長年の開発によりようやくお客様に採用された時には、開発者として充実感が得られました。それにもまして、栄誉ある芦原科学賞の大賞に選定されたことは、技術面だけではなく社会への貢献度も高く評価されたものと受け止めており、光栄であると同時に大変感激しております。

銭瓶課長：私は、製造部門の担当者として、開発製品を安定して生産する業務に従事してまいりましたが、今回、その取組みを高く評価していただき、このような名誉ある賞をいただけたことを大変嬉しく思っております。



仲南工場製造II課
銭瓶課長

植松係長：私は、製品の改良・改善を担当しておりまして、今回、芦原科学賞の大賞をいただけたこと、社会に貢献できたことを大変嬉しく感じております。



仲南工場品質管理課
植松係長

開発の経緯と成果

理事長：御社における技術開発の基本方針についてお聞かせいただけますでしょうか。

田中取締役：当社グループは、昨年、次の10年に向けての在り方「経営ビジョンNext10」を策定する中で、要素技術を通じて新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナーを目指す考えを明記する一方、今後注力する事業領域として「人々の安全で快適な生活を支える事業」、「環境・エネルギー負荷を軽減する事業」、「情報通信に関する事業」の3事業を掲げました。今回の芦原科学大賞の受賞も、こうした考え方にに基づき、当社の製品が食品の賞味期限を延長するだけでな

く、食品ロスの削減、包装作業における人手不足の解消など、社会的課題の解決に少しでも役に立つことを評価いただいたものと、大変光栄に感じております。

理事長：製品の開発にあたり、どのような点にご苦労されたのかお聞かせください。

山下担当：開発製品の商品化には実用性能を評価する必要がある、その性能評価には主にスーパーのパックセンターなどお客様の所に出向き、包装試験を行ってきました。包装試験では現場のオペレーターの皆さんにご迷惑をかけたりご協力を得ながら、細部にわたる試験の評価を聞かせていただきました。

包装現場では、乗り越えなければならぬ課題も数多くありましたが、関係者のご協力を得ながら課題解決を図り、最終的にお客様の満足度の高い製品を開発することができました。そういった研究開発に従事できた喜びは何事にも代え難く、会社に対して感謝している次第です。

銭瓶課長：今回開発したフィルムに使用している樹脂は、加工が非常に難しく、ポリエチレンなどの一般的な樹脂とは異なり、機械を停止してしまうと、3～4日は機械の分解・清掃作業を余儀なくされてしまうことから、開発過程の試験においては、できるだけ多くの試験をするために作業が深夜に及ぶことが数多くありました。

理事長：従来のものと比べて性能上、どのような特徴があるのか教えてください。

山下担当：スーパーのショーケースに陳列されている牛肉などは、変色や菌の増殖などの理由から賞味期限が2～3日のものが殆どです。しかしながら、二酸化炭素には静菌作用があり、高濃度の酸素には赤身の発色を維持する性質があることから、二酸化炭素と酸素の混合ガスで牛肉をパックすることにより、賞味期限を延ばすことができます。しかし、一般的なラップフィルムはガスが透過することから、混合ガスでパックしたとしても、数時間で大気状態に戻ってしまい、鮮度を保つことができません。それに対して開発したガスバリア性シュリンクフィルムで包装すると、充填された混合ガスを長時間保ち、牛肉などの鮮度を保持することができるようになりました。



それに加え、薄いフィルムに透明性や結露を防止する防曇性、自動包装の適性など、トレーパックに必要ないろいろな機能を実装しました。現在、国内ではこの製品がオンリーワンであると自負しております。

植松係長：今回の技術は、従来に比べて薄膜化によってプラスチックの使用量が減り、環境への負荷を低減することができました。また、フィルムの厚みが薄くなる中でガスバリア性が重要となりますが、ガスバリア性を高めることでディスプレイ上のデメリットも生じましたが、その課題も克服することができました。そういった意味で、ガスバリア性とディスプレイの両立が図られる技術になっているところも特徴です。

理事長：今回開発した技術には、どの程度の期間を要したのでしょうか。

山下担当：大賞をいただいた商品は、およそ10年程度で、形になる期間を含めると12～13年程度の期間を要しております。

今後の開発方針

理事長：今回、大変素晴らしい技術を開発されたわけですが、アフターコロナを見据えた今後の対応についてどのようにお考えでしょうか。

田中取締役：アフターコロナについては、なかなか見通せないところが実に悩ましいのですが、感じることは「コロナ後はコロナ前にあらず」ということだと思います。Withコロナとして、従来の生活様式だけでなく働き方や暮らし方も大きく変わっていく中で、様々な価値観も変わっていくと考えられます。

常務執行役員：そうした状況に応じて新たな需要や市場が必ず生まれることから、新たな視点や新たな発想で新たなお客様ニーズをキャッチするなど、機動性をもって対応し、新たな価値を創造してまいりたいと考えております。

仕事のやりがいと喜び

理事長：仕事を通して、喜びや感動、誇りを感じる時はどのような時でしょうか。

山下担当：スーパーのパックセンターでの包装試験では、オペレーターの方々にご迷惑もかけましたが、最終的にはお褒めの言葉と高い評価をいただいたときは、大変嬉しく思いました。また、家族と買い物に訪れ、開発製品で包装された牛肉等のパックを手にもって妻に実情を伝えたと、この製品の開発に自分自身が携わったことに対する自信や喜びを感じました。

銭瓶課長：加工が難しい樹脂であり、加工条件が繊細で製造方法も複雑なことから、生産上のトラブルが発生しやすいのですが、そうしたトラブルを未然に防ぎ、品質面および歩留まり面で目標を達成することができたときは、ハードルが高い分、製造担当の仲間と共に喜ぶことができました。

植松係長：製品の改良・改善を担当する上で、トライ＆エラーを苦労とは思っておりません。改善を行いながら理想とする値に徐々に近づいている実感が得られたり、出来上がった製品をお客様に持参し、喜んでいただけることに対し喜びを感じております。また、地方の特産品を扱うお客様から、「今までは生モノは送れなかったが、今回開発された製品によりそれが可能となった」と言われたときは、とても嬉しく思いました。

今後の抱負と事業展望について

理事長：今後の抱負や事業の展望についてお聞かせください。

山下担当：今回の受賞製品や現在開発している製品などは、一般消費者が使用したり、手に触れるため、これからの開発や改良にあたっては、当社の強みである分野の技術を活かしながら、営業担当者の意見だけでなく、家族や友人の困りごとや改善要望にも耳を傾けながら、市場にマッチした開発に取り組んでいきたいと考えております。

銭瓶課長：現在、海洋プラスチックごみなどの環境問題が注目を集めておりますが、当社は数多くのプラスチック製品を

取り扱っていることから、製品の開発にあたっては機能性を訴求する高機能製品を作っていきたいと考えております。また、製造過程において発生する廃棄物の排出量低下にも努めてまいりたいと考えております。

植松係長：今後は、環境配慮型の商品にシフトしていくものと考えられますので、プラスチックの削減やバイオマスの利用などにシフトした製品の開発に力を入れていきたいと考えております。

田中取締役：足元のコロナウイルスによる市場環境の変化の一方で、先ほど3人からも話題に上りましたように、世界的にSDGsニーズは更に高まりを見せていくと考えられます。中でも地球温暖化問題や海洋プラスチック問題など、環境保護に対する技術ニーズは増していくと思われます。このため、当社といたしましては、こうした変化をチャンスとして捉え、特に環境問題を優先して取り組んでいきたいと考えております。

具体的には、環境配慮型製品の開発、工場でのロスの削減、リサイクル製品への取り組みなどを通じて、持続可能な社会への貢献を果たしていきたいと考えております。特に、建材事業のパーティクルボード原料に建築廃材を利用して、循環型社会の確立と二酸化炭素の排出削減に大きく貢献しておりますが、今後はパーティクルボードを基材として利用した広範囲な用途展開にも取り組んでまいりたいと考えております。



先ほど山下からも述べましたとおり、当社の持つシーズの強みと社会のニーズをいかにマッチングさせていくかが今後の事業展開の鍵を握っております。また、開発にはスピード感が求められておりますが、当社単独でできることには限界があることから、技術のアライアンスや共同研究の推進、更にはM&Aなどのビジネス手段の活用も踏まえながら対応していかなければならないと考えております。

理事長：本日は素晴らしいお話をありがとうございました。これからもどんどん新しい技術の開発に挑戦していただき、ご活躍されることを期待しております。

理事長：本日は素晴らしいお話をありがとうございました。これからもどんどん新しい技術の開発に挑戦していただき、ご活躍されることを期待しております。



インタビューを終えて記念撮影

(左から田中取締役常務執行役員、大津理事長、山下担当、植松係長、銭瓶課長)

かがわ産業支援財団は、新型コロナウイルス感染症に関して特別支援体制で、中小事業者等を強力に支援しています

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経営面で多大な影響を受けている県内中小企業を強力に支援するため、5月7日より、特別支援体制で取り組んでいます。

■「新型コロナウイルス関連経営相談窓口」の設置

新型コロナウイルス関連に特化した、特別相談窓口を設置し、中小企業診断士などの専門家が、事業者の実態に応じ、経営相談と国・県・市町などの施策の活用方法などについて助言します。

相談窓口電話番号 **087-840-0391**
(受付時間 平日8:30～17:15)

設置日 令和2年5月7日(木)～令和3年3月31日
平日・毎日

設置時間 8:30～17:15

設置場所 香川産業頭脳化センタービル1F(高松市林町2217-15)

対応者 中小企業診断士等専門家による対応

相談方法 来訪、電話、WEB等による相談(事前予約制)
●来訪による相談を希望される場合は、感染防止対策を行ったうえで対応します。
●電話による相談を希望される方には、専門家から電話をいたします。

実績 窓口で電話いただいた件数: 619件
専門家による相談対応件数: 590件(9月18日現在)

■横断型各種施策の総合的な紹介ホームページの公開

<https://www.kagawa-isf.jp/link/corona.htm>

「新型コロナウイルス関連企業支援チーム」によるプッシュ型支援

県内事業者に対して、国や県の事業継続や雇用維持に関する支援施策に加え、省庁の枠を超えた国の経済対策全般にかかる各種施策や県内市町の取組みを積極的に紹介するため、「新型コロナウイルス関連企業支援チーム」を財団内に設置しました。

設置日 令和2年5月7日(木)

支援方法 財団職員で「支援チーム」を編成し、県内事業者への電話連絡によるプッシュ型で各種支援制度の情報を提供し、最適な窓口へつなぎました。

実績 事業者へ電話した件数: 2,611件
コロナの影響ありと回答: 2,016件(9月18日現在)



「香川県よろず支援拠点」の休日経営相談(中小企業庁委託事業)

財団内に設置している香川県よろず支援拠点では、3月から当面の間、新型コロナウイルス関連に特化した、**土日祝日対応**の無料経営相談を実施しています。ご利用ください。(6Pにも記載)

開設時間 10:00～14:00

設置場所 香川産業頭脳化センタービル2F
「香川県よろず支援拠点」(087-868-6090)

相談方法 来訪、電話、WEB等による相談(事前予約制)

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL 087-840-0391 FAX 087-869-3710

令和2年度 新かがわ中小企業応援ファンド等事業 後期事業を採択しました!!

財団では、平成29年度に造成した「新かがわ中小企業応援ファンド」などを活用して、中小企業者等が行う研究開発や販路開拓、人材育成などの取組を総合的に支援しています。この度、令和2年度後期事業を募集し、応募案件を審査した結果、次の7件を採択しました。

●新分野等チャレンジ支援事業

採択7件(申請11件) 採択額 7,000千円

事業名	事業者	採択額(千円)
廃棄処分された屋根瓦の再利用(ガーデニング材)技術の確立	株式会社請川窯業(観音寺市)	1,000
一般廃棄物由来の固形燃料原料を活用した製鉄用「フォーミング抑制材」の開発	株式会社エコマスター(三豊市)	1,000
エディブルフラワーの栄養価及び心身に与える効果に着目した加工食品の開発	カトーレック株式会社(高松市)	1,000
新規油性LPS原料を配合した油剤系化粧品「バーム」の開発	自然免疫応用技研株式会社(高松市)	1,000
道路工事用三槽式タンクの開発	ハイブリッド株式会社(高松市)	1,000
分晩監視装置iCTGの小型化とデザイン変更によるユーザビリティの向上	メロディ・インターナショナル株式会社(高松市)	1,000
オリーブ樹木スモークウッドの専用スモーカーの開発と販路開拓	株式会社山一商店(土庄町)	1,000

募集期間: 令和2(2020)年6月19日～8月20日

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

香川県よろず支援拠点の体制が更に拡充！

～新型コロナウイルスによる緊急対応も実施中！土日祝も相談いただけます～

「よろず支援拠点」は国が全国に設置する経営相談所です。香川県よろず支援拠点では、経営、創業、商品開発、補助金活用などをはじめとした相談業務を行っており、さまざまな業種の事業者や起業を考えている方など、たくさんの方々にご利用いただいています。

当拠点がある香川産業頭脳化センタービル以外にも、コーディネーターによる出張相談が行えるサテライトを県内6か所に設置しておりますので、経営のお困りごとがございましたら、分野にかかわらず、当拠点またはお近くのサテライトをお気軽にご利用ください。

8月から4名の新規コーディネーターを加えて、更に相談対応できる範囲を広げており、以前にも増して、事業者様の目線で経営課題に対する多様な提案を行えるようになりました。また新型コロナウイルス感染拡大により、経営に影響を受けている事業者様への対応として、当面の間、土・日・祝にも相談をお受けしていますので、下記のお問い合わせ先からお申込みください。

コーディネーター（専門家）の紹介

〈チーフコーディネーター〉〈サブチーフコーディネーター〉

矢野 稔洋
[ヤノ シヒロ]

【経営/資金調達/経営戦略】

豊田 浩伸
[トヨタ ヒロノブ]

【商品開発/販路開拓】

梅澤 秀樹
[ウメザウ ヒデキ]

【経営/金融/事業承継】

柴田 直美
[シバタ ナオミ]

【経営/創業/IT】

川上 実
[カワカミ ミノル]

【経営/業務品質向上】

竹内 哲也
[タケウチ テツヤ]

【商品戦略/販路戦略】

水本 規代
[ミズモト ミヨ]

【IT活用/生産管理】

小笠原 大知
[オガサワ ヒロトモ]

【財務/資金】

島谷 美保
[シマタニ ミホ]

【IT活用/WEB/EC】

野中 利員
[ノナカ トシカズ]

【医療/介護】

香川 貴子
[カガワ タカコ]

【経営/新事業/生産性向上】

松尾 隆志
[マツオ タカシ]

【経営/営業】

谷川 由紀
[タニガワ ユキ]

【人事労務/人材活用】

渋谷 信人
[シブヤ ノブ]

【地域商品開発/新規創業】

新開 勝之
[シンカイ カズユキ]

【コンセプト構築/利益分析】

鶴見 伸之
[ツルミ ノブユキ]

【雇用管理/労働問題】

藤村 靖治
[フジムラ ヤスハル]

【経営/現場改善】

創業・起業サポート

中小企業診断士等の専門家が創業プランや資金計画などをお手伝い。

経営相談

経営理念、経営戦略、事業承継など経営に関する相談をお受けします。

金融相談

資金計画、資金繰り表の作り方など金融に関するアドバイスをいたします。

販路開拓・商品開発

段階に応じたマーケティング支援、新商品の開発など幅広く支援します。

補助金活用・支援機関

有効な補助金の活用や、課題に応じた他支援機関などのご紹介。

IT・デザイン・広報

チラシデザインからITまで幅広く支援。PRや広報のノウハウも伝授。

香川県よろず支援拠点の所在地・お問い合わせ先



〒761-0301 高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
香川県よろず支援拠点
TEL.087-868-6090 FAX.087-869-3710
MAIL. yorozu@kagawa-isf.jp

※「香川県よろず支援拠点」は、公益財団法人かがわ産業支援財団が実施機関となって運営しています。

お問い合わせ先

TEL.087-868-6090

●受付時間

平日8:30～17:15 土・日・祝10:00～14:00
(土・日・祝はコロナ関連相談に限りです)

※できるだけ事前にご連絡、ご予約をお願いします。

県内6か所にサテライトを設置し、
月1～2回出張相談を行っています。

●三豊サテライト

三豊市危機管理センター1階
三豊市商工会（インパルみの）

TEL:0875-73-3012 (三豊市 産業政策課)

●東かがわサテライト

東かがわ市役所2階 相談室

TEL:0879-26-1276 (東かがわ市 地域創生課)

●小豆島サテライト

小豆島町役場本館1階 打合室1

TEL:0879-82-7021 (小豆島町 商工観光課)

●丸亀サテライト

丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター）4階

TEL:0877-24-8844 (丸亀市 産業観光課)

●まんのうサテライト

まんのう町商工会館1階 相談室

TEL:0877-73-0122 (まんのう町 地域振興課)

TEL:0877-73-3711 (まんのう町商工会)

●観音寺サテライト

観音寺市役所内相談室

TEL:0875-23-3933 (観音寺市 商工観光課)

開催日程など詳細に関しては、各サテライトへお問い合わせください。 ※事前予約制

「マイクロ波熟成促進装置 Aging Booster」の開発支援

令和元年度に四国計測工業株式会社との受託研究により、「マイクロ波熟成促進装置 Aging Booster」の開発を支援しました。

【Aging Boosterの特徴】

マイクロ波による内部加熱の特徴を活かし、肉の表面温度を低く保った状態で雑菌の増殖を防ぎ、内部温度のみ高くすることで酵素の働きを活性化させることができます。

牛肉を熟成した場合、通常の低温熟成に比べて熟成期間を短縮できるとともに、遊離グルタミン酸の増加量が10倍になるなど、旨味やコクに優れています。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ 1F TEL 087-869-3440 FAX 087-869-3441

夏休み「科学と発明」おもしろ体験学習を開催しました

令和2年8月2日(日)に、(公財)かがわ産業支援財団、(一社)香川県発明協会及び(公財)大西・アオイ記念財団は、将来を担う子どもたちに楽しみながら科学と発明への興味を高めてもらうため、小学生親子等を対象に、夏休み『科学と発明』おもしろ体験学習を開催しました。

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり参加人数を例年の半数程度とし、「感染の予防、拡散防止」に細心の注意を払いながら開催した結果、当日は暑い中欠席者もなく、子どもたちは実験や工作に取組んでいました。

また、県内企業様のご協力でサーモカメラを入口に設置し、AIにより来場者の顔の認識を行い顔ごとに温度を表示させる迅速な検温システムを体験することができました。

A かがく実験教室	参加者	学 習 内 容
かがく実験①	27名	【電子レンジでガラス細工】 高性能電子レンジのマイクロ波で加熱して、ガラスのペンダントを焼いてついたり、透明石鹸(グリセリンソープ)づくりを体験しました。
かがく実験②		【いろいろな顕微鏡でのぞく世界】 電子顕微鏡や光学顕微鏡を使って花粉や昆虫を観察し、それぞれの顕微鏡による見え方の違いを体験しました。
B 発明工作教室	参加者	学 習 内 容
ドライアイス実験教室	25名	【ドライアイスでプチロケットを飛ばそう!】 ドライアイスはどのようなものか実験をとおして学び、工作ではフィルムケースでプチロケットを作り、発射実験をしました。



開会の挨拶 大津理事長より



①電子レンジでガラス細工



ドライアイス実験



ドライアイスでロケット飛ばそう!



サーモカメラで検温中



②いろいろな顕微鏡でのぞく世界

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部
高松市林町2217-43 RISTかがわ 1F TEL 087-869-3440 FAX 087-869-3441

「令和2年度総合防災訓練」に出展

香川県消防学校において、8月30日に香川県と市町が連携した総合防災訓練が行われました。新かがわ中小企業応援ファンド等事業助成金を活用して開発した防災関連製品を紹介するため、展示コーナーに財団ブースを出展しました。(株)ダイコープロダクト、宝食品(株)及び(株)メカトロ技研の3社にご参加いただき、浜田知事や丸尾多度津町長はじめ消防関係者、一般参加者に開発製品の特長をPRしました。

出展企業	出品商品
(株)ダイコープロダクト	消防手袋「BULLRESCUE」
宝食品(株)	防災食(おいしいごはんシリーズ)
(株)メカトロ技研	ハイブリッド式非常用小型発電機「ELSONA」



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 TEL 087-868-9903 FAX 087-869-3710

D-プシコース(アルロース)が「0kcal」表示できるようになりました！

D-プシコース(アルロース)は、研究の結果、エネルギー量が0kcal/gであることが明らかでしたが、食品表示基準通知の「難消化性糖質のエネルギー換算係数」の表に記載がないため、「0kcal/g」を用いてエネルギー量を表示する場合には「推定値」であることの表示が求められ、0kcalであることを強調した表示もできませんでした。

本年3月の食品表示基準通知の改正により、エネルギー換算係数「0kcal/g」を用いたエネルギー量を「推定値」の記載なしに表示し、また強調表示をすることができるようになりました。D-プシコース(アルロース)の長所を、消費者に分かりやすく伝えることができるようになり、「香川の希少糖」のブランド化の促進につながる事が期待されます。

県内の障害者支援施設に希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」が寄贈されました！

松谷化学工業株式会社から、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組む県内の障害者支援施設に、希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」が寄贈されました。

7月15日に県立川部みどり園で贈呈式が行われ、松谷化学工業株式会社 高松事務所の丸岡所長から沼田園長に、「レアシュガースウィート」のペットボトル3ケースが寄贈されました。

県内の22の障害者支援施設に寄贈された「レアシュガースウィート」は、入所者に提供される飲料の甘味料や、給食の食材として活用されます。



11月10日は「いい糖の日」「希少糖の日」

11月10日は(一社)日本記念日協会により、「希少糖の日」として登録されています。今年も「希少糖の日」を中心に、希少糖のPRを行います。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 TEL 087-840-0338 FAX 087-864-6303

かがわ産業支援財団が創業者の夢を開業までサポート

令和2年度「かがわ創業塾」が開講しました

公益財団法人かがわ産業支援財団では、香川県からの補助を受け、県内での創業を支援する「かがわ創業塾」を毎年開催しており、令和2年度の「かがわ創業塾」については8月28日から開講しました。

「かがわ創業塾」では、創業に必要な知識やノウハウを、講義を通じて体系的に習得しながら、先輩創業者と交流し、創業計画書を実際に作成していくカリキュラムを組むことで、創業したい方の夢が形になるよう応援します。講師は、中小企業の経営相談に対応している経営・マーケティング等の専門家等であり、相談事例も交えた実践的な講義を行っています。そして、塾開催中だけでなく、終了後もこれらの専門家等が無料で相談に対応するなど、創業に向けて当財団が万全のサポートをしていきます。ご興味のある方は、ぜひ一度お問い合わせください。

【これまでの開催状況について】

平成27年から開催している「かがわ創業塾」も、今年で6年目を迎えています。過去5年間で235名の方に受講いただき、132名の方が修了され、実際に60名の方が創業されています。

● 1年目(H27年) 夏季	受講者数23名	修了者数11名(全5回出席)	創業者 6名
● 1年目(H27年) 秋季	受講者数33名	修了者数19名(全5回出席)	創業者 3名
● 2年目(H28年)	受講者数34名	修了者数24名(全5回出席)	創業者11名
● 3年目(H29年)	受講者数53名	修了者数32名(全5回出席)	創業者 9名
● 4年目(H30年)	受講者数34名	修了者数18名(全5回出席)	創業者14名
● 5年目(R元年)	受講者数58名	修了者数28名(全5回出席)	創業者17名

【令和2年度のかがわ創業塾について】

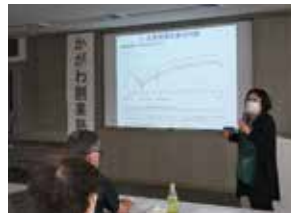
日時 令和2年8月28日(金)、9月4日(金)、11日(金)、18日(金)、25日(金)

場所 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室(高松市林町2217-15)

受講者は、原則として、5日間すべて受講していただき、5日間すべて受講いただいた方には修了証を発行します。この証は香川県の「起業等スタートアップ支援補助金」における補助対象要件にできます。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710



「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」応募者を募集します

新たな事業を開始する又は開始して間もない方を対象に、斬新なビジネスプランを募集しコンペを行い、地域経済の将来を担う革新的ベンチャー企業の創出及び育成を図ります。香川を元気にするビジネスモデルのご応募をお待ちしております。

募集期間 令和2年9月25日(金)～11月5日(木)

最終選考(公開プレゼンテーション)及び表彰式 令和3年2月5日(金) 予定

開催場所 かがわ国際会議場(高松シンボルタワー タワー棟6階)

対象者 次に掲げる要件の全てに該当する者

- 独創的なビジネスプランを有し、令和4年3月31日までに香川県内で創業若しくは設立する予定又は令和3年4月1日現在で創業若しくは設立が5年未満である中小企業者(会社又は個人)、一般財団法人、一般社団法人、若しくは特定非営利活動法人
- 一般財団法人、一般社団法人若しくは特定非営利活動法人にあっては、中小企業者の振興に資する事業を行うものであって、中小企業者と連携して事業を行うもの又は中小企業者を支援する事業を行うために中小企業者が主体となって設立するものであること
- 大企業からの出資が50%以上でなく、かつ、実質的な経営の参画がないこと

応募方法 応募シート(下記URLアドレスからダウンロード)を作成し、事務局へ提出

<http://www.kagawa-isf.jp/sien/kensyou/newbusiness/>

表彰 最優秀賞1件、優秀賞2件
(受賞者には表彰状及び楯を贈呈)

- 受賞者の特典**
- 最大200万円の助成金(最優秀賞のみ)
 - 財団のインキュベーション工房に入居する場合、賃借料を1年間(最長1年間の更新可能)無料提供(最優秀賞のみ)
 - コーディネーターによる支援(経営・技術開発・販路開拓等の経営課題に対する支援)
 - 県内金融機関による支援
 - 公開プレゼンテーションを通じたベンチャーキャピタル等へのPR

審査方法 書類選考を経た後、最終選考進出者による発表会を開催し、審査委員による審査で受賞者を決定

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等に応じ、開催形態やスケジュール等の変更、開催規模の縮小等を行う場合があります。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

令和2年度戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)に2事業が採択

～財団と(株)伏見製薬所がヒト皮膚マイクロバイオームのバランス維持による悪玉菌の活性抑制型皮膚用剤の高精度生産技術を開発～
～財団と(株)レクザムが次世代半導体プロセスに対応可能な超臨界技術を用いたウエハ乾燥技術を開発～

戦略的基盤技術高度化支援事業とは

わが国製造業の国際競争力強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業・小規模事業者によるものづくり基盤技術(12技術分野)の向上につながる研究開発、その事業化に向けた取組を支援することを目的とし、製品化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発等及び販路開拓への取組を一貫して支援するものです。

※ものづくり基盤技術(12技術分野):デザイン開発技術/情報処理技術/精密加工技術/製造環境技術/接合・実装技術/立体造形技術/表面処理技術/機械制御技術/複合・新機能材料技術/材料製造プロセス技術/バイオ技術/測定計測技術

令和2年度事業に採択!

今年度は1月31日～4月24日まで公募が実施され、当財団からは申請した2件が採択されました。全国では、326件の申請があった中から102件(四国は3件)が採択されました。

【採択案件】

研究テーマ	内容	基盤技術	実施体制
ヒト皮膚マイクロバイオームのバランス維持による悪玉菌の活性抑制型皮膚用剤の高精度生産技術の開発	ヒトに安全でヒトの皮膚に常在する菌群である細菌叢(マイクロバイオーム)のバランスを壊さずに目的の菌の生育のみを抑制する全く新しいタイプのメチル-L-ソルボシドの誘導体である各種アルキル-L-ソルボシドを用いた、ニキビおよび加齢臭の悪化要因菌等の生育抑制と皮膚細菌叢のバランス維持の両立を可能とする次世代型皮膚用剤の高精度生産技術の開発を行う。	材料製造プロセス	(公財)かがわ産業支援財団 株式会社伏見製薬所 国立大学法人九州大学 国立大学法人香川大学
次世代半導体プロセスに対応可能な超臨界技術を用いたウエハ乾燥技術の開発	AI・IoT時代を迎え、半導体集積回路の超微細化が進むなか、従来の乾燥法では溶媒の表面張力により線幅の狭いパターンが倒壊するという問題が顕在化してきた。このため、表面張力が小さい超臨界二酸化炭素流体による高精度なウエハの乾燥法を開発する。乾燥速度の向上とコンタミ低減技術を開発し、産総研の評価技術を活用して、次世代のEUV露光装置を用いる300mmウエハ量産ラインに組み込み可能な仕様を目指す。	材料製造プロセス	(公財)かがわ産業支援財団 株式会社レクザム 国立研究開発法人産業技術総合研究所

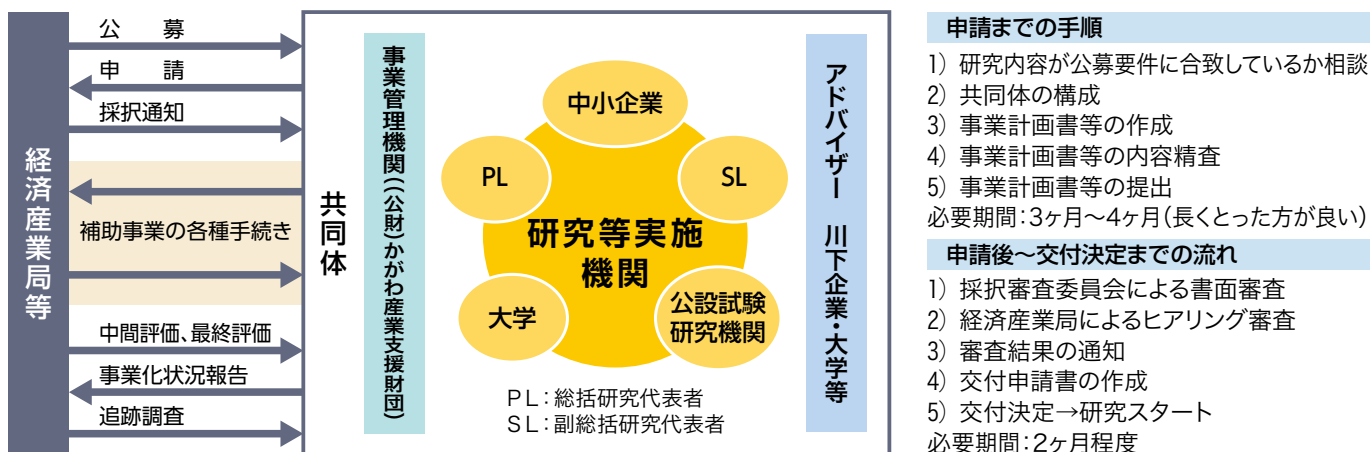
次年度以降の申請の相談について

本事業は、通常毎年1月～4月頃に公募が行われます。高度な技術開発を前提とし、新規性や具体的な効果等が厳密に審査されるため、採択されるには事業計画の作成等に十分な準備を必要とします。当財団では常時相談に応じています。本事業への申請を検討されている企業・大学・公設試験研究機関の方は、お早めにご連絡ください。

本事業の令和2年度公募要領では次のとおりでした。

補助事業期間	2年度又は3年度
補助金額 (上限額)	1事業あたり 単年度4,500万円以下 2年度の合計で7,500万円以下 3年度の合計で9,750万円以下
補助率	2/3以内
申請要件	「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に関する研究開発であり、中小企業者を含む共同体を構成すること。

事業スキーム図



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

かがわ産業支援財団の入居施設のご案内

ネクスト香川 インキュベート工房(一般型) 空き3室(令和2年10月1日現在)

創業後5年以内の方や新たな事業分野へ進出する方に研究開発、製造スペースを提供します。



施設概要

所在地: 香川県高松市林町2217-44
(高松中央ICから車で約2分)

その他: 来客駐車場、大小会議室完備

使用料等(消費税込み)

● 賃料は月額: 1,560円/㎡(5年目まで)、
1,870円/㎡(5年目以降)

● 敷金不要

工房概要

64.65㎡~137.13㎡までの全10室

● 24時間365日施設利用可能

● 冷暖房完備、機械警備システム

● 1室あたり駐車場2~4台分無料

● 入居期間(最長13年間)

ネクスト香川 インキュベート工房(情報通信型) 11月1日OPEN予定

情報処理関連事業を行う方で、以下のいずれかに該当する者が対象の小規模な工房です。

● 創業後5年以内または新事業へ進出しようとする者

● 県外から香川県内に新たな拠点を設けようとする者

工房概要

約15~30㎡の全4室

● 24時間365日施設利用可能

● 冷暖房完備、機械警備システム

● 1室あたり駐車場1台分無料

● 入居期間(最長5年間)

使用料等(消費税込み)

● 賃料は月額: 1,560円/㎡

● 敷金不要

フロム香川(一般研修室) 一般研修室2室公募中(ただし、入居は令和3年4月1日以降)

基礎研究の成果を実用化に結び付けるための研究開発を行う産学官共同研究グループや実用化研究企業のための施設です。



施設概要

約50㎡の全15室(一般研究室)

● 24時間365日施設利用可能

● 冷暖房完備、機械警備システム

● 入居期間(最長5年間)

使用料等(消費税込み)

● 産学官共同研究グループ: 無料

● 実用化研究企業: 月額: 2,610円/㎡
(減額適用の場合有)

● 敷金不要

香川産業頭脳化センタービル(オフィスビル) ITスクエア4室空き有(令和2年10月1日現在)

創業や新たな事業化を目指す方等を対象とした「貸オフィス」です。

入居者の方は、ビル内の会議室、研修室を2割引きでご利用になれます。



施設概要

所在地: 香川県高松市林町2217-15
(高松中央ICから車で約2分)

その他: 来客駐車場、各種会議室等有

貸室概要

18㎡~324㎡までの37室

6.5㎡のITスクエア11室

● 全室OAフロア

● 24時間365日施設利用可能

● 冷暖房完備、機械警備システム

● 貸室約25㎡あたり駐車場1台分無料

入居料等(消費税込み)

区分	インキュベータールーム※	リサーチルーム	ITスクエア
賃料	月額 1,650円/㎡	月額 2,640円/㎡	月額 20,950円
共益費	月額 1,100円/㎡		なし
敷金	なし	賃料の3か月分	なし

※は、創業期の方対象。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部施設管理課
高松市林町2217-15 URL: <http://www.kagawa-isf.jp>

TEL.087-869-3700

令和2年度「かがわ成長する企業大賞」候補企業を募集します！

県では、特徴的な製品やサービスの開発などの優れた取組みにより、成長を続けている県内の中小企業の認知度を高めるとともに、従業員等の意欲の向上を図るため、表彰制度「かがわ成長する企業大賞」を設けています。今年度も、「ものづくり部門」、「商業・サービス部門」、「奨励部門」の各部門において、候補企業を11月30日(月)まで募集しますので、ぜひ御応募(自薦、他薦)ください。

※詳しい内容や
応募方法は
こちらから→



【令和元年度「かがわ成長する企業大賞」受賞企業のご紹介】

ものづくり部門：株式会社サムソン 代表取締役社長 吉岡 龍示

事業内容

産業用ボイラーおよび食品機器メーカーとして、開発・製造、販売、メンテナンスを行っています。当社製品は、街のクリーニング屋さんから学校・病院といった公共施設、食品・自動車・化学ほか様々な業種の工場など、私たちの生活の身近なところで使われています。

『香川でつくる。世界で売る。』をモットーに、地元香川での人材採用・人材育成・設備投資に力を入れ、お客様満足や地域発展に貢献できるよう取り組んでいます。

企業の評価のポイント

受賞企業は、主力製品である小型貫流ボイラーや真空冷却機において、業界初の技術を市場に提供し、ここ10年増収増益と堅調に推移しており、昨年5月には最新の研究開発施設を稼働させ、新製品開発やAI研究などの取組みを強化しています。また、過去3年で、中途採用を含め、県内出身者を32名雇用するなど、地元雇用にも貢献しています。



▲本社ビル 2017年4月竣工



▲お客様にボイラーの実機見学や省エネ性能を体験頂き、社員実機研修も実施できる「サムソリューションセンター」
2019年5月竣工

商業・サービス部門：大豊産業株式会社 代表取締役社長 乾 和行

事業内容

電気機材卸業としてスタートし、その後大手化学工場や石油精製工場向けの機器販売やシステム構築、メンテナンス等の省力化事業へと事業領域を広げ、更に新エネルギー事業にも参入しています。近年ではロボットやAI等を駆使したIoT事業に着手し、販売から設計・施工・保守までのトータルソリューションを提供しています。

また、平成23年には「くるみんマーク」を取得、65歳定年制の導入など、社員が働きやすい職場づくりにも努めております。

企業の評価のポイント

受賞企業は、従来事業に加え、工場などの省力化事業や新エネルギー事業にも参入したことで、売上高を大幅に伸ばしています。近年では、少子高齢化による人手不足を解消するため、AIやロボット技術を活用したIoT関連事業にも着手し、時代の変化に応じた事業展開に取り組んでいます。また、県内では学校や運動施設に、太陽光発電システムやLED照明を納入しており、地域の省電力化に貢献しています。



◀本社ビル

▼本社エントランス



奨励部門^(※1)：hacomo 株式会社 代表取締役社長 岡村 剛一郎

事業内容

エコな素材のダンボールを用いて、お子様向けに恐竜や動物、乗り物をテーマにした工作キットをはじめ、大人や外国人向けには、より細密なレーザー加工機を駆使した商品を製造販売しております。また、全国の美術館、博物館、百貨店などで、大きな海賊船や木馬、迷路などを組み合わせたイベント「ダンボール遊園地」も開催しております。

ダンボールでオモシロイものごとを創造し、世界の人々にワクワクとハッピーをお届けします。

企業の評価のポイント

受賞企業は、独創的な商品開発力で業界内外において高く評価されており、売上高は設立当初と比べ大幅に伸びています。また、「ザ!鉄腕!DASH!!」や「TVチャンピオン極」といった全国ネットのテレビ番組で紹介されたほか、瀬戸内国際芸術祭2019では、オフィシャルショップの陳列棚を段ボールで作成するなど、地域のイメージアップにも貢献しています。



PUSUPUSU
(ダンボール工作キット)
◀高松城



▲「ダンボール遊園地」海賊船

(※1) 奨励部門は、上記の2部門の業種のいずれかに該当し、従業員数(パート従業員を含む)が20名程度以下の中小企業者。

お問い合わせ先

香川県商工労働部産業政策課(企画・総務グループ)
TEL 087-832-3349 FAX 087-806-0210

かがわ発!

元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発! 元気創出企業」。今回は、高松市にある「株式会社二宮石材」を訪ねました。

原動力は危機感と使命感。 千年続く庵治石の歴史を 次世代につなぐために。

庵治石の加工を行う「株式会社二宮石材」を立ち上げたのは平成5年。この地へと移り住み、庵治石の採石場を営んでいた父の背中を見て育った幼少期から、すぐそばにあるのが当たり前だったという同社代表取締役の二宮力氏が4年の修業を経て弟とともに創業した。高級墓石として業界では名高い庵治石だが、一般的にはまだまだ知られていないことに危機感を覚えたという二宮氏。庵治石の魅力を世界に発信するため、新しい取り組みにチャレンジし続けている。



代表取締役
二宮 力 氏

株式会社二宮石材

代表者 二宮 力氏
所在地 高松市牟礼町牟礼3195-1
電話番号 087-845-3875

<http://ninomiyasekizai.com/>



プラスト加工、石材加工を担う二宮石材の社員は全員で7人。息子さんをはじめとする若い世代にも、その技術は継承されている

長い歴史と匠の技が 幼い頃からすぐそばに

香川の県産品である庵治石。その歴史をさかのぼると1000年前までたどることができ、平安時代後期には採石の記録が残っているほど。約650年前には庵治石を用いた加工が現在の牟礼町および庵治町で本格的に始まったといわれている。

明治時代までは、他の産地同様に石工が採石から加工まで行っていたが、時代とともに採石と加工が分業で営まれるようになった。分業制によって専門的な技術がより確立されるようになり、大正時代から昭和初期には、花崗岩の中でも硬度が高い庵治石を美しく加工する技法が定着したという。石の墓碑を建てるのが一般的になってきた時代。石材として他にはない魅力を持つ庵治石と美しく磨き上げる石匠の技術によって、高級墓石の代名詞となっていく。

戦後の一時期、父が採石業を営んでいた二宮さん。幼い頃から石材の町で育ち、遊び場は石を積み上げた広場だったと笑う。「すぐ近くにイサム・ノグチ氏のアトリエがあって。イサムさんとたけのこ掘りしたなんていう同級生もいたくらいですが、当時は世界的に有名な彫刻家だとも知らなかったし、庵治石のこともただの石だとは思っていませんでしたよ(笑)」。大人になるにつれ、身近に当たり前にあるこの庵治石の他にはない希少性に気づいたという。



今年9年目を迎える「AJI-PROJECT」にて手がけたコースターやソーブディッシュ。「AJI-PROJECT」は来年4月に民営化し、二宮石材が受けつぐこととなった





次なる展開を後押しした 直視せざるを得ない現実

香川県高松市の東に位置する八栗五剣山は、山全体が花崗岩の層からなる。それこそが日本三大花崗岩のひとつに数えられ、世界でも花崗岩のダイヤと呼ばれる庵治石だ。きめ細やかな石肌、水晶にも匹敵する硬度、磨けば磨くほど艶を増していく庵治石。高校卒業後、石材加工の仕事に従事した二宮さんは石の持つ魅力にみるみる引き込まれていった。

刻んだ文字が200年以上も風化しないという庵治石は、磨き上げることによりしっとりとした艶を持ち、また美しい黒雲母が浮き上がる。その石の性質と戦前より受け継がれてきた加工技術が高い評価を得ていることもあり、当時は庵治石のほとんどが高級墓石として加工されていた。とはいえ、創業したのは日本経済が冷え込み始めたのと同じ頃。外国製の石材が日本に多く入りはじめ、庵治石以外を加工することも増えてきたという。それでも培った技術力を買われ、弟とふたりでは仕事量をこなせなくなった平成19年、二宮石材は法人化を果たした。

ちょうどその頃、二宮さんはある疑問を抱くようになる。それは墓石を扱う業界では最高級石材・世界一の石と呼ばれてきたにもかかわらず、一般的には全く知られていないのではないかと。『ぜんぜん違う石を持ってきて、これ庵治石ですか？』と聞かれた時はびっくりしました。でもそれが現実なんです。



八栗寺にも祀られている頭が象になった双身像「歓喜天」をモチーフにした石像

玄関においているだけで絵になる
スタイリッシュな印鑑立てなど、
お洒落な文房具も豊富に



うどん県×ヤドロンコラボ商品のひとつ「ヤドロン庵治石コースター」。おもて面にヤドロン、裏面にはモンスターボールが描かれた大人可愛い逸品



「庵治石産地が千年継続したのは、それだけの力があるから。だとすれば世界と戦えるものができるはずだ」と話す二宮さんが手がける商品の数々。その思いが新たな挑戦の原動力となっている

風化しない魅力を武器に 使命感を持って挑戦を

「花崗岩のダイヤモンド」庵治石の認知度の低さを実感するようになった二宮さん。「もうそれが悔しくて…、何とかしたいと思うようになり、墓石以外のいろんなことに取り組むようになりました」。庵治石を世界的に知ってもらいたい。ブランド化したい。同時に産地の存続に対する危機感もあったという。

この10年間で石材業に関わる人たちは半分ほどに減ってきた。だが、二宮さんは悲観していない。「庵治石産地が千年間同じことをやってきたわけではない。どの時代も転換期には主軸を変えていったと思うんです。それまでは城石中心だったけれどここ100年ほど墓石が主軸になったということ。であれば墓石に変わるものを見つけていきたい」。8年前に仲間とともにはじめた「AJI-PROJECT」もそのひとつ。他にも若者向けジュエリーブランドとのコラボアイテムや大手セレクトショップの製品、オリンピックの公式商品など、さまざまな商品を展開している。

「日本の文化を支えてきたのは職人です。日本はものづくりの国ですから」。どこにも負けない、庵治石の素材としての魅力。そして、誰にも負けないものづくりに対しての思い。その自負のもと、二宮石材は産地の仲間とともに新しい時代に沿った庵治石の魅力を発信していく。

知的財産セミナーを開催します

知的財産をビジネスに活かしませんか！

香川県内の創業者や中小企業等の方々が、知的財産の重要性や活用についての関心・意識を高め、知的財産を活用することにより、企業競争力の強化に繋げていくため、身近な事例などを交えながら、地域に密着した知的財産に関するセミナーを、高松市において4回開催します。受講料は、無料ですのでお気軽にご参加ください。

	日 時	開催場所	テーマ	講 師
第1回	11月26日(木) 13:30～15:30	香川産業頭脳 化センタービル	「海外ビジネス人材育成講座」 海外ビジネスと知財対策	独立行政法人工業所有権情報・研修館 海外PD 久永 道夫 氏
第2回	12月3日(木) 13:30～15:30		意匠法改正の概要と意匠権の活用事例	レクシア特許法律事務所 弁理士 松井 宏記 氏
第3回	12月10日(木) 13:30～15:30		営業秘密管理(オープン・クローズ戦略 とトラブルから学ぶ営業秘密管理)	独立行政法人工業所有権情報・研修館 知財AD 古田 恵夫 氏
第4回	12月17日(木) 13:30～15:30		ホントは怖い著作権 ～ネット時代の落とし穴～	株式会社ループホール 弁理士 城田 晴栄 氏

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-867-9332 FAX.087-867-9365

「知財マッチングセミナー」を開催します

大企業等の開放特許を活用した新製品の開発や新たな事業展開など、企業価値を高め、競争力を強化するためのセミナーを開催します。

身近な事例を中心に、開放特許をヒントにした新商品の開発企画・アイデア出しについて分かりやすい内容となっておりますので、関心のある方はぜひご参加ください。

開放特許を利用して新製品を開発したい、関心はあるが進め方がよくわからない、という方にお勧めです。

受講料は無料ですので、お気軽にお申し込みください。



昨年の開催風景

開催日	開催場所	テーマ	講師	定員
令和2年11月12日(木) (13:30～16:00)	ネクスト香川 3F会議室	開放特許をヒントにした新製品の開発 ●開放特許の活用事例 ●開放特許を活用した新製品企画・アイデア出し ●展示パネルによる開放特許の紹介	ディスプロ株式会社 代表取締役 桑原良弘 (一社)発明推進協会 研究員)	30名

「知財マッチング in かがわ2020web面談」を開催します

大企業等が保有する開放特許を活用して県内企業の新商品開発や新たな事業展開を図るため、「知財マッチング in かがわ2020web面談」を開催し、大企業等との知財マッチングの機会を提供します。

今回提供する大企業等の開放特許は、機械・電気・加工・食品に加え、オンライン、AR分野のシーズも追加しています。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場でweb会議システムを利用して、個別面談を実施します。また、開催日を皮切りに、11月19日(木)から12月25日(金)まで個別に日程調整の上、面談を実施します。

なお、オンラインツールは、シーズ提供側の大手企業等の状況に合わせて利用します。

また、11月12日(木)には、パネル展示や一部シーズ紹介も併せて「知財マッチングセミナー」を開催しますので、開放特許等の活用に関心がある方は、ぜひご参加ください。

- 開催日時：令和2年11月18日(水) 10:00～16:00
- 会 場：香川産業頭脳化センタービル 2F 一般研修室
- 面談期間：令和2年11月18日(水)～12月25日(金) 予定

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15 TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

公募予定

開催日	名 称	内 容	担当課
9月1日～10月30日 (本年度最終募集)	中小企業等外国出願支援事業	中小企業等の外国への特許出願等に要する費用の一部を助成します。	知的財産支援課

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F
総務課
TEL(087)840-0348 FAX(087)869-3710
施設管理課
TEL(087)869-3700 FAX(087)869-3703
企画情報課
TEL(087)868-9901 FAX(087)869-3710
ファンド事業推進課
TEL(087)868-9903 FAX(087)869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL(087)840-0391 FAX(087)869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL(087)868-9904 FAX(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地16
FROM香川1階
産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム
TEL(087)840-0338 FAX(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地43
RISTかがわ1階
研究管理課・研究開発課
TEL(087)869-3440 FAX(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
知的財産支援課
TEL(087)867-9332 FAX(087)867-9365
知的財産普及課
TEL(087)869-9004 FAX(087)867-9365